

保護者様

平成23年度 学校評価アンケート集計結果

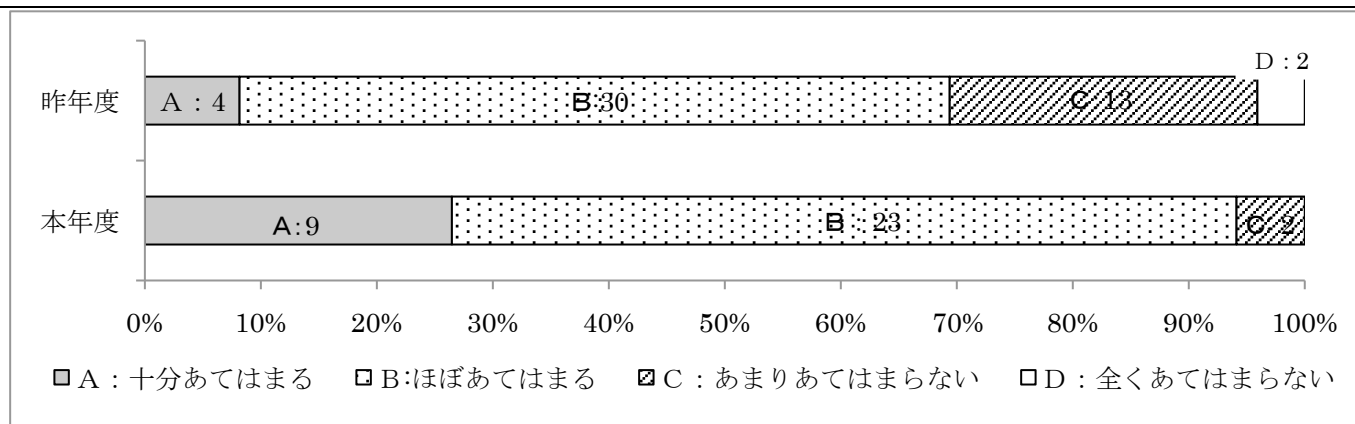
お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。ここに、集約結果をご報告いたします。

保護者の皆様から頂いた貴重なご意見やご要望につきましては、全教職員で真摯に受け止め、今後の学校運営に生かすように努めます。今後とも、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

筑波大学附属大塚特別支援学校 校長 藤原義博

回収率：49% ※昨年度は68%

1. 大学の方針に基づいて本校の教育方針や教育目標、各部の教育目標をめざした教育活動を行っている。



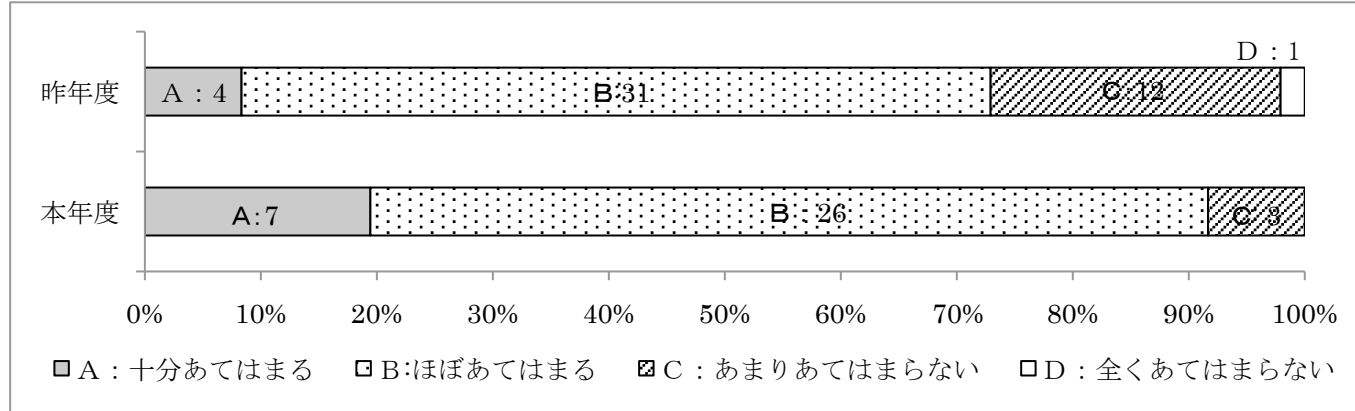
《そのように評価した理由》

- ・子どもの成長した姿をみて、教育目標を目指した教育がなされていると感じる (3人)。
- ・国内外の教育者の見学や教材開発の展示等をみて、そう感じる (1人)。
- ・大学、本校の方針、目標を年度始めなどに確認、年度終わりに達成度の報告を受けられるとより良いと思う (2名)。
- ・先生方の講演なども受けることができればと思う (1人)。
- ・教員の質にバラツキがあり過ぎ、教育目標が子どもたちに具現化されていない (1人)。

《改善策》

●本校の目指していることや教育方針、研究内容等が、保護者の皆さんに十分伝わるように、年度はじめに学校長及び主事から詳しく説明する機会を設けます。また、学校便り等を通じて分かりやすく発信するように努めます。

2. 校長・各部主事や担任からの説明やお便り、学校行事、ホームページ等によって、本校の教育活動について情報を伝えている。



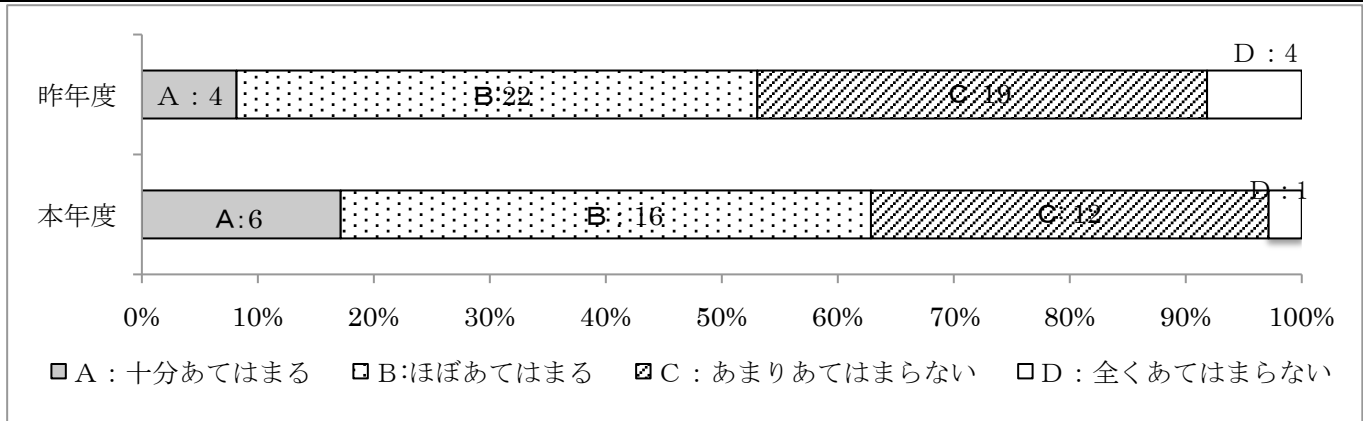
《そのように評価した理由》

- ・お便りや写真、DVDなどから、本校の教育活動がよくわかる（5人）。
- ・不十分である（2人）。
- ・ホームページが古い。もっと充実させてほしい。頻繁に更新してほしい（7人）。

《改善策》

●ホームページの更新をチェックするための新たな係「ホームページ管理委員会」（仮称）を校務分掌の中に位置づけます。また、現行のホームページは容量が少ないので、何とか予算を工面してホームページを刷新できるように努めます。

3. 学校は、保護者との意思疎通を積極的に行なっている。また、保護者の声は学校運営や学部運営に生かされている



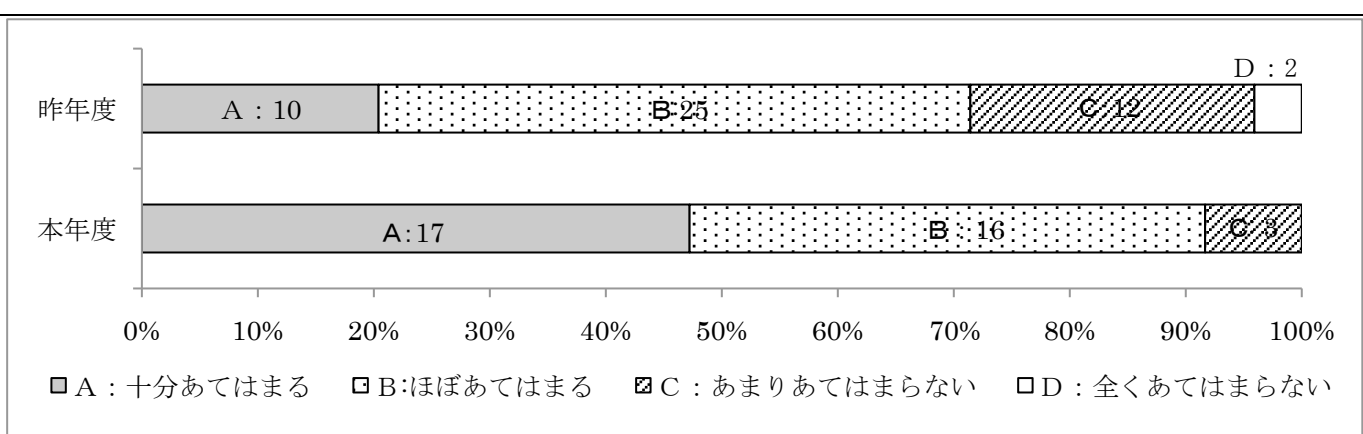
《そのように評価した理由》

- ・毎日の連絡帳や個人面談、電話等を通して意思疎通が十分にとれていると思う（6人）。
- ・あまり生かされていない。保護者の思いがもう少し伝わればと思う（3人）。
- ・保護者側からの要望や改善を学校に伝えてもどのように生かしているのかがわからない。もっと保護者側に説明してほしい（1人）。

《改善策》

- 職員朝会、運営委員会、職員会議で、各クラスの子どもの様子、保護者側からの要望や思いを全校で情報共有する時間を設けます。
- 管理職が早期に情報を把握して対処できるようにするために、報告・連絡・相談を徹底します。
- 保護者の皆さまからの声を学校運営に反映させるために、来年度は「学校評価アンケート」を12月中に集約して、よりよい学校運営をめざして全教職員で協議するようにいたします。

4. 学校行事（入学式や卒業式、運動会や学芸会等）は、子どもにとって意義あるものになっている。



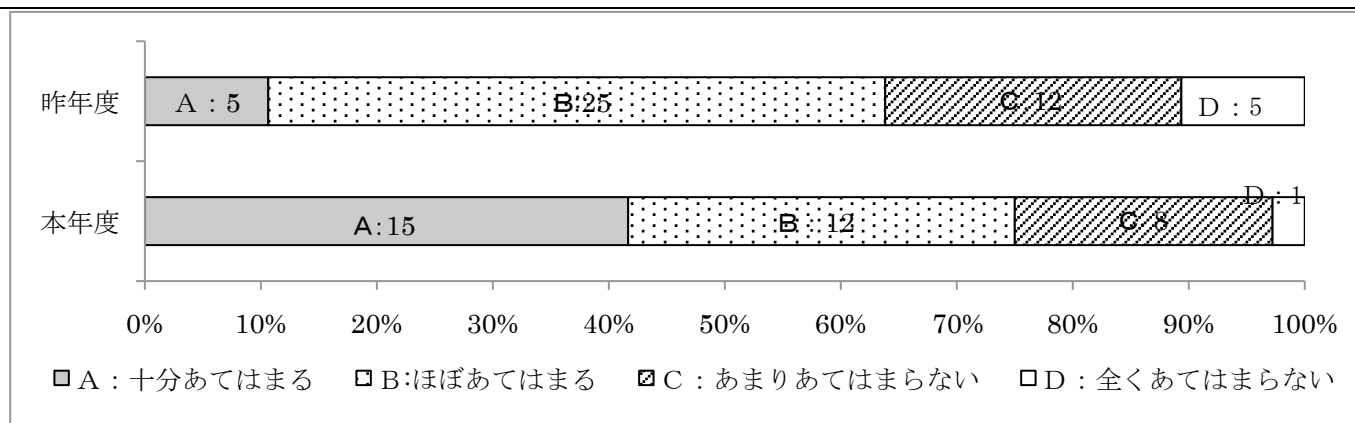
《そのように評価した理由》

- ・行事によって子どもの成長した姿を見ることができる。子どもの自信につながっている (9人)
- ・幼～高まで幅がありすぎてまとまりがない (1人)。
- ・子どもの能力の差を十分に対応すべき。十分に事前学習をすべき (人)。
- ・運動会や学芸会については内容を吟味してほしい。毎年運動会で毎年同じサーキットをするのも… (1人)

《改善策》

●学校行事というものは日常の学習成果を発揮する場です。一人ひとりの子どもの力が最大限に発揮できるようにするために今後も全教職員で創意工夫してまいります。

5. 学校は、子どもたちの安全を守り、校舎内外の環境の整備に努めている。



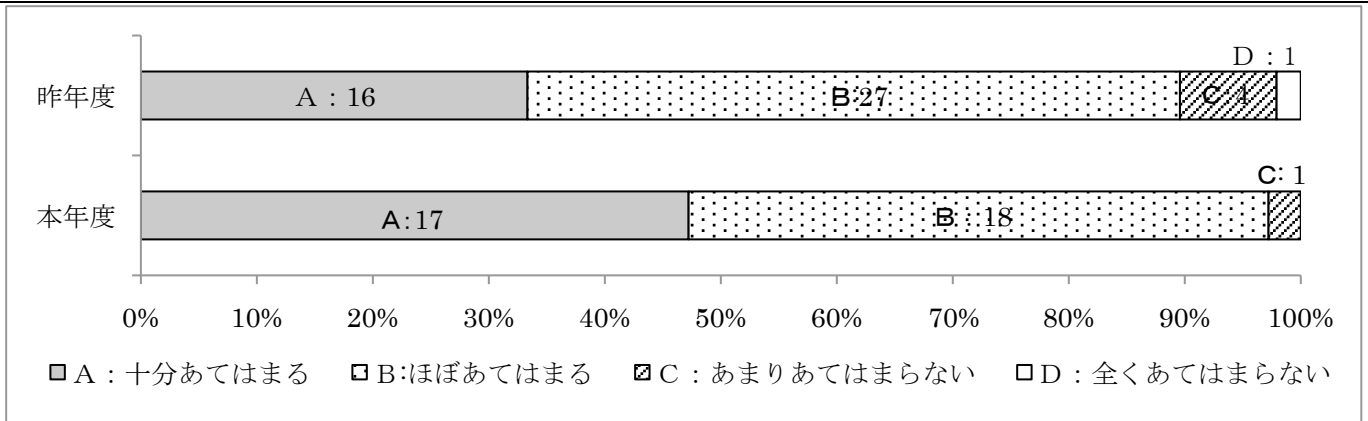
《そのように評価した理由》

- ・今年度から携行するようになった緊急連絡カードやプリントなどを拝見すると、安全に努めていると思う (6人)。
- ・大きな災害に備え有事の時に本当に役立つ訓練やシステム作りをして欲しい (1人)。
- ・危険箇所が数カ所あるが改善されない。現状を把握頂き早急にご対応願います (1人)。
- ・警報報発令時の登下校の生徒の安全確保の態勢をもっと具体的な対応の説明がほしい。メール配信をもっと有効活用してほしい (1人)。
- ・入構証を提示することなく出入りが自由であるためヘルパーの方々、見学者等不特定多数が出入りする特殊な学校であるため、入退出をきちんと管理すべきであると考えます (1人)。

《改善策》

●昨年度の反省を受けて、本年度は緊急時の対応について新たにホームページに掲載しました。インターネット (HP) やメールの活用方法、非常食をはじめとした災害備蓄、想定外を想定した緊急時対応マニュアルの整備等、本年度も検討を重ねてまいります。結論の出たものから、保護者の皆様には早めにご連絡するようにいたします。

6. 幼児・児童・生徒は、生き生きと学校生活を送っている。



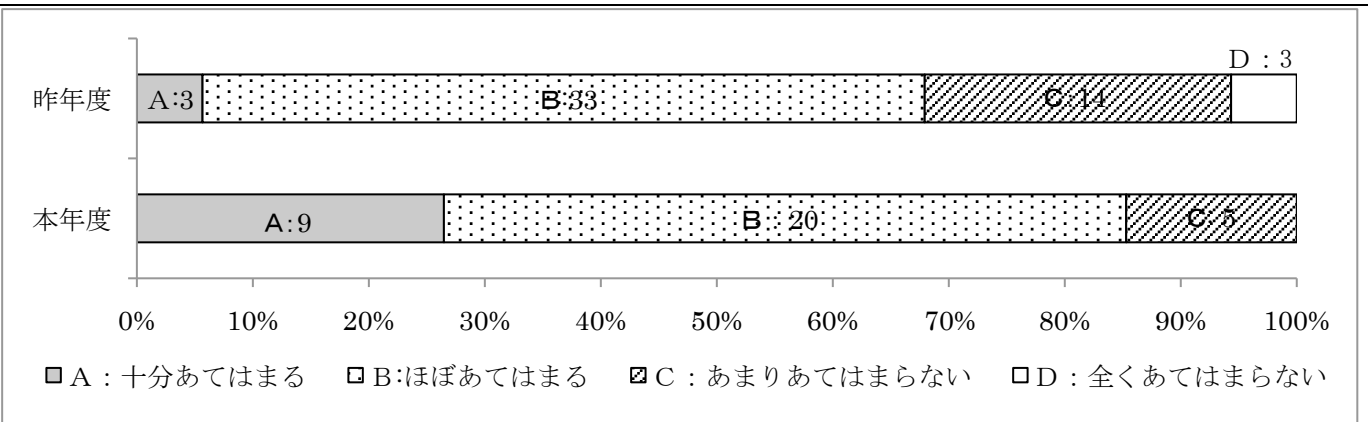
《そのように評価した理由》

- ・子ども達の生き生きとした姿を見てそう思う。大塚に入れてよかった。学校が大好き。先生が大好き（10人）。
- ・校庭の遊具をもう少し考えてほしい。小学部の外にブランコは要らないのでは…もう少し見合った体力向上できるものの設置を希望します（1人）。

《改善策》

- ・今後とも、子どもたちが生き生きと学校生活が送れるよう保護者の皆様と連携をはかりながら教育活動を充実していきたいと思えます。

7. 教員は、幼児・児童・生徒にとって分かりやすく、内容のある授業を工夫している。



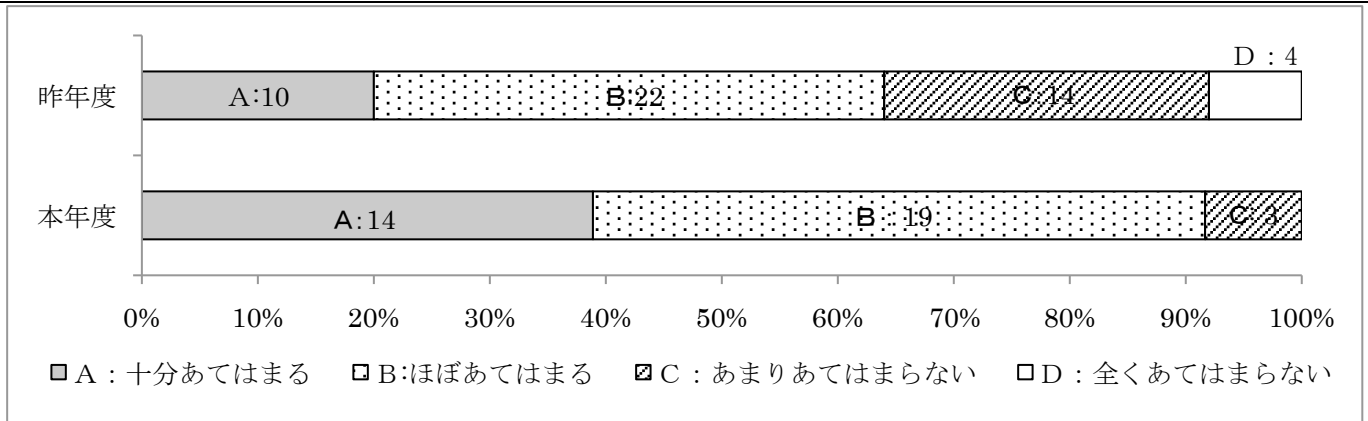
《そのように評価した理由》

- ・分かりやすく充実した学習活動だと思う（7人）。
- ・もう少し読み書きに力を入れてほしい（3人）。

《改善策》

- ・来年度も引き続き、全クラスの「授業改善」をめざします。子どもにとって分かりやすく達成感のある授業づくりをすることを学校運営の柱に据えます。

8. 教員は、保護者と話し合い連携して幼児・児童・生徒を指導している。



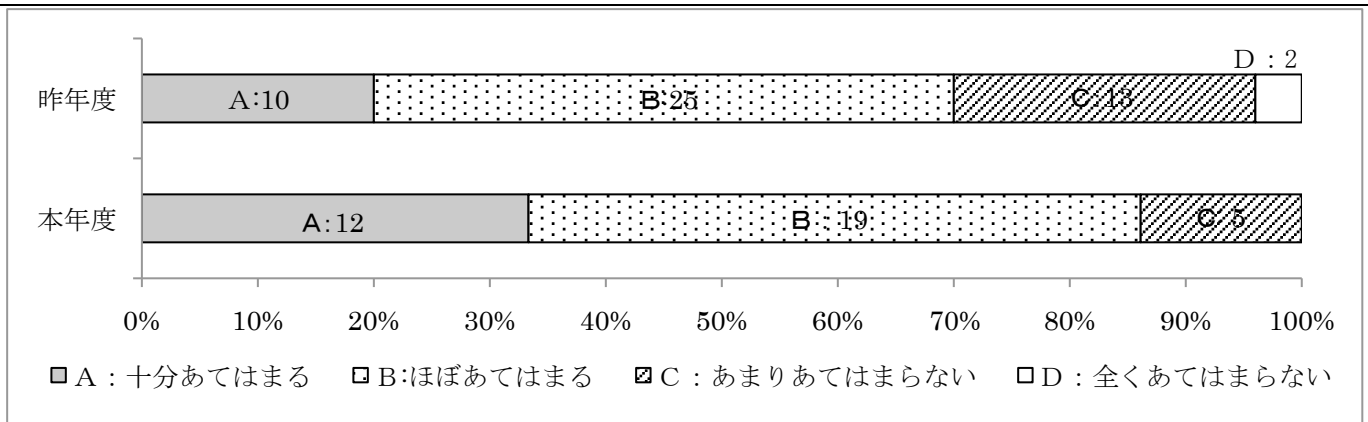
《そのように評価した理由》

- ・保護者会や個人面談、連絡帳など細かく連携できている（3人）。
- ・お伺いしたいことが子どもに合うよう配慮して下さり学校生活の中で学べるように取り入れて下さった（1人）。
- ・ご自分の考えが固定されている先生とは何度何時間話し合いの場を持っても無意味だったこともあります（1人）。

《改善策》

- 今後も必要に応じて話し合いの場を設定し、連携して「個別教育計画」を確認していくよう努めます。

9. 教員は、幼児・児童・生徒をよく理解して能力や努力を適切に評価している。



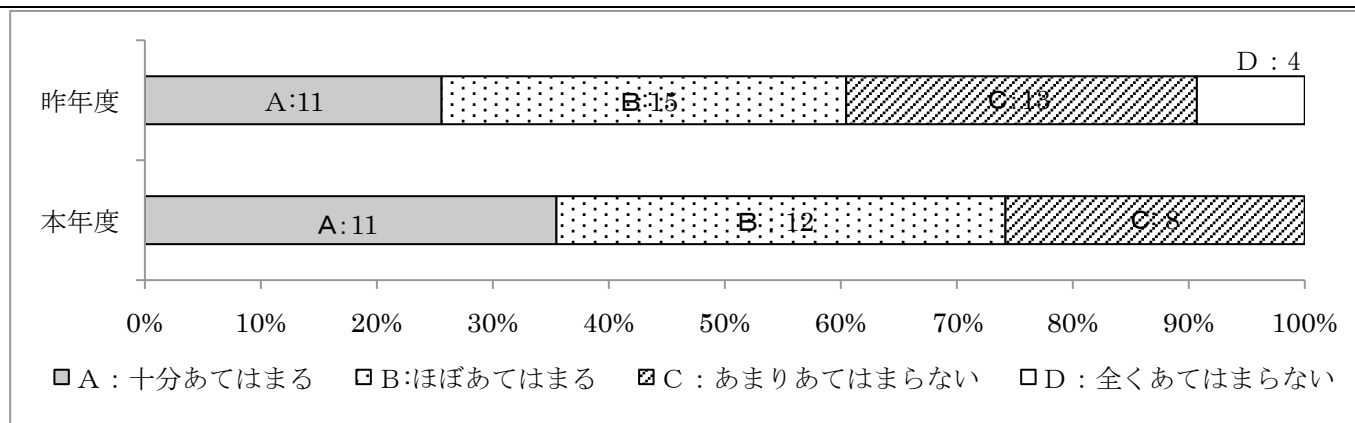
《そのように評価した理由》

- ・子どもの姿を的確にとらえて理解してくれている（5人）。
- ・少人数なのでゆきとどいていると思う（1人）。
- ・授業参観や行事等を通して先生方の努力を痛感しております（1人）。
- ・できる事、できるようになった事を更に伸ばせる指導をして欲しい（1人）。
- ・宿題にも課題にも変化が欲しいと思います。一つ決めるとそればかりの傾向にあるように思います（1人）。
- ・教員の都合が優先され子どもに無理を強いるケースが散見される（1人）。

《改善策》

- 幼児・児童・生徒の評価については、今後も諸側面から適切な評価を行うよう努力します。
- 評価の根拠などを示しながら、丁寧に説明するよう努めます。

10. 本校の教育は、他校と違った特色がある。



《そのように評価した理由》

- ・教師の専門性の高さや教育実践、スキー合宿などの行事から本校は他校と違った特色があると思う（4人）。
- ・少なくとも不本意で本校に勤務している先生はおられないと思います。公立と比べればそれが最大の特色（1人）。
- ・少人数なので集団としての物足りなさがある（1人）。 ・研究日が多い。短縮授業が多い（1人）。
- ・特色や成果についてあまり感じられない（2人）。 ・他校を知らないので比較できない（3人）。

《改善策》

- 保護者会やお便りを通じて、今後も本校の特色について説明する機会を設けていきます。

次年度に向けた改善点・ご要望（1～10との重複を避けて集約させていただきました）

- ・休みや短縮授業を少なくして、授業時数を増やしてほしい（3人）。
- これまで同様標準授業時数を確保は堅持いたします。その上で、本校の使命である教育研究活動を推進していくことについてご理解いただけるよう努めます。
- ・プール授業や観劇など通常登校にして学校からスクールバスで行って帰って来る日程にしてほしい（2人）。
- 小学部運営計画で検討します。
- ・学校内の危険箇所をチェックして安全性を高めてほしい（2人）。
- 本校では校内安全委員会において定期的に危険箇所のチェックを行っています。体育館への階段の転落防止柵については設置を終えました。古い校舎ですが、子どもの安全管理は第一に考えております。保護者の皆さまからの情報をお寄せ下さい。
- ・保護者から学校への改善点や要望をどう生かしていくのかを伝えてほしい。校長先生として、どうとらえているのかも保護者側にはわかりにくい（以下1人）。
- 保護者アンケートなどに基づき、改善点や要望の把握に努め、その都度、具体的に報告させていただきます。
- ・障害理解や適切な援助方法、将来への備えなどについての研修会をしてほしい。保護者も学校と連携して子ども達を育てる存在でありたいと思う。
- PTA研修部とともに内容を検討、企画していきます。

・教職員の服務についての要望について

☛労働基準法に基づき、子どもの養育、親の介護の関係で勤務時間の短縮をしている職員もおります。ご理解をいただきたいと思えます。

・歓迎会、お楽しみ会、観劇、お別れ会など、本当に保護者が出席することが必要なのか？子ども達にとって意義がある行事になっているのか検討して欲しい。

☛各部運営計画の中で検討します。

・スキー合宿の泊数を1日延長してほしい。

☛中高部会において検討します。

・PTA活動への負担が大き過ぎる。

☛PTA役員の皆さんと一っしょに、負担軽減についての具体策を考えていきたいと思えます。

以上、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

追記；個人が特定される可能性のある表現については、運営委員で削除または修正いたしました。ご了承ください。